

特別委員会委員長報告

6月定例会における特別委員会からの報告を掲載します

行財政改革推進 特別委員会

4月30日に委員会を開催し、「住宅新築資金等貸付金の滞納整理の状況について」「市営住宅使用料等の滞納整理の状況について」「市税等（保育料）の滞納整理の状況について」「市有財産（全般）の管理・活用状況等について」審査を行った。

「住宅新築資金等貸付金の滞納整理の状況について」では、本年当初の滞納繰越調定額は、約3億5300万円、7件が完済されたと報告があった。また、県の補助金に該当するものが800万円程度あり、確実に取り組むと答弁があった。

「市営住宅使用料等の滞納整理の状況について」では、滞納繰越調定額は、約466万

5千円で、問題のある債権は減少していないとの報告があった。

委員会からは、先進地での研修等を活かした新たな滞納者を出さないような取り組みを求めた。

「市税等（保育料）の滞納整理の状況について」では、26年度当初に約1030万8千円であったものから、約340万2千円を徴収した。

今後は現年度の滞納に対して初期段階から対応する。庁内で収納率向上に向け、統一的な取り組みを行い、悪質な滞納者には厳とした態度で臨むとの説明があった。

この件に関しては、委員会から市長に提言を行うこととした。



「市有財産（全般）の管理・活用状況等について」では、旧さくら保育園職員駐車場の防火水槽を設置し、行政財産とした。中央公民館南の駐車場が今年度増える等の説明があった。

市街化区域外の財産が明確になっていないこともあり、今後の審査に資するための資料作成を執行部に要望した。

その他、指定管理に関する審査に向け、必要となる具体的な資料の提出についても要望した。

定住人口増加促進 特別委員会

4月14日と5月25日に定住人口増加促進特別委員会を、6月8日に、都市計画に関する小委員会を開催した。4月14日の委員会では

表明された高知広域都市計画についての市長の考え方は、今ある都市計画の線引きは維持しつつも、制度や面的な問題、住宅政策、アクセスの問題等について積極的に取り組み、できるだけハードルを低くして、住宅を建てられるような取り組みを行っていききたいというものであった。

その後協議を行い、都市計画については、市長の考え方を踏まえた上で、小委員会の中で更に調査研究を進め、一定の時期に委員会に諮りながら、引き続き調査・検討を行うこととした。

次に、5月25日の委員会では「香美市移住定住促進アクションプランについて」と「地方創生に関する政策提言について」を議題とし、審査・協議を行った。

審査では、「空き家バンク」「お試し住宅」



「東京、大阪で行われた移住相談」「移住定住に関する相談窓口の仕組み」等に関する質疑が多くあった。

また、政策提言については、会派、個人から提案のあった政策案を、本市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の骨格案の分類に沿って仕分けし、次回の委員会で精査し政策提言に繋げていくこととした。

次に、6月8日の小委員会では「都市計画について」今後の進め方を協議し、権限移譲、連たん、先進地研究、不動産業者との意見交換、賃貸について等をテーマに、調査研究を進めていくこととした。

政策提言

それぞれの特別委員会から政策提言を行いました

行財政改革推進特別委員会政策提言

保育料の滞納整理の状況について

1. 現年分についても収納課による滞納整理を行うこと。
2. 現年滞納を未然に防ぐ観点から、園長会にて滞納問題を議題とし善処されること。

定住人口増加促進特別委員会提言

木材支援事業

市産材を活用した木造住宅建築を進めるために

1. 建築団（申請手続き・設計・建築を一体的に支援する）の組織化 3団
2. モデルルーム（内覧会・HPへの登録）補助金の創設 10万円 5件

観光振興

1. 道の駅開設 2カ所（あけぼの街道沿線・べふ峡温泉）
2. ICTを活用したインターネット上での情報発信の推進（商工会・観光協会・いなかみ等との連携）

創業支援

1. 漫画家育成事業
漫画広場等の開設によりプロの漫画家育成を目指す 5人
2. I・U・Jターンで農業を目指す移住者向けのレンタル農機具補助 10件
農地幹旋システム構築による農地の幹旋 10件

地方移住の推進

住宅関連事業（主に若年層に対する住宅事業）

1. 独身専用住宅 20戸
2. 民間の賃貸住宅入居者への助成 20件
3. 一次産業（農林業）伝統工芸（打刃物・フラフ etc.）等に就業を希望する単身者向けの市産材（CLTも含め）を使ったお試し住宅団地の建設 10戸
4. 上記の制度を利用する若年層が、本市に持ち家を建てて定住することを支援するための、持ち家支援制度創設 10戸

シティープロモーション実施事業

様々なキャッチフレーズで暮らし方の提案

「恋人と暮らす町、香美市」「自分流”はじめます” etc.

妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援

仲人さん育成事業 5人

仲人さん育成講習を実施し、香美市認定の仲人さんを育成する

育成した仲人さんが仲介したカップルが香美市に5年以上住むことを条件に結婚祝い金10万円（市内流通の商品券）を贈呈する 50組

